



陸前濱街道（今の六號国道）と云へば昔から花のお江戸と東北地方とを繋ぐ幹線で人馬の往來も繁しく沿道の宿驛は非常な發展を見たのであるが時勢の推移に伴ひ衰微して沿道の藁屋根に昔日の面影を偲ぶのみとなつた。

鮎川は多賀郡鮎川村にある神祕と傳説とに名高い「諏訪の水穴」から流れ出る清冽な流で、その川に今度何代目かの橋梁が架設された、今までは木橋であつて近來の如き高速交通機關の發達に適せぬ憾が多かつたので今回は鉄筋コンクリート拱橋としこゝに強靱にして且白虹の如き美を持つ新鮎川橋が架せられるに至つたもので七月十九日盛大な竣功式を舉行した。

その工事概要は左の通りである。

### 工 事 概 要

- 一、橋 名 鮎川橋(鮎川架橋)
- 一、位 置 六號国道多賀郡鮎川村大字  
成澤 油繩子

一、橋 種 無鉸式鉄筋コンクリート拱橋

一、設計概要

橋 長 22.0米

拱 矢 4.4米

拱 頂 厚 0.36米

起 拱 厚 0.72米

取付道路延長 95.0米

有效幅員 7.5米(進路橋梁共)

橋 面 三和土

高 欄 鉄筋コンクリート造

(鑄物格子附)

工 費 13,760圓

内 橋 梁 10,167圓

道 路 3,593圓

材 料 コンクリート218.4立方米

一、工 事 鉄筋 16.5噸

工 期 起工 昭和11年1月20日

竣功 同 11年7月18日

附 舊橋は大正11年11月に架設せられたる三徑間の木造方杖橋にして橋長22.7米有效幅員5.3米なりき。

## 鮎 川 橋 架 換 工 事 横 山 喬

茨城縣土木課長